

## 夢を持ち、理想を掲げる 令和4年度桑折町立志式



▲社会の一員としての志を胸に、高橋町長から立志証書を受け取る代表生徒の菅野大翔さん

桑折町立志式が2月3日、醸芳中学校で行われ、2年生92人が社会の一員としての自覚を新たにしました。

立志式は、数え年で15歳の節目に自分を見つめ、社会の一員としての自覚や責任感を持つきっかけとなるよう、中学2年生を対象に、町青少年育成町民会議の事業として実施しています。

式では、同会議会長の高橋町長が、代表生徒に立志証書を手渡し、社会の一員への第一歩を踏み出す生徒らに式辞を述べました。記念品贈呈の後、生徒を代表し、渡部夕里さんが「今日立てた志を胸に、努力することを怠らず、自分の目指す場所へと歩み続けることを約束します」と誓いの言葉を述べました。

## 多くのご寄附をいただきました 令和4年度ふるさと納税



▶タブレット端末を活用し、授業を受ける児童

令和4年度(1月まで)のふるさと納税は、令和3年度実績の1億2,053万円(6,699件)を上回る1億3,413万円(7,658件)もの寄附をいただきました。

町では、いただいた寄附金を寄附者の意向に沿って、学校給食費半額助成事業や入学祝い制服支給事業、インフルエンザなどの予防接種助成事業など、さまざまな事業に活用しています。

皆さんの応援を力に、

「住み続けたいまち 住みたいまち 桑折」の実現に向け、各種政策を進めていきます。

ふるさと納税を活用した今年度の主な事業は、次の通りです。

事業の種類	活用事業	充当額
教育	学校給食費半額助成事業	12,330千円
教育	学校ICT(電子黒板・タブレット端末配置)事業	6,300千円
町長おまかせ	伊達桑折IC周辺インフラ整備基本構想策定業務	5,380千円
町長おまかせ	入学祝い制服支給事業	4,000千円
災害復旧	福島県沖地震による被災家屋解体事業	2,225千円
農業振興	桃づくり推進事業	1,800千円
社会福祉	インフルエンザ等予防接種助成事業	1,200千円

## 町の施策について意見交換 内堀福島県知事が来町



▲今後も相互に協力し合い、町の発展を目指していくことを確認する高橋町長(左)と内堀県知事(右)

内堀雅雄県知事と高橋宣博町長の意見交換会が2月16日、役場で行われました。

はじめに、伊達桑折IC周辺の土地利用について、「複合型流通業務地」として活用する取り組みの進捗状況を説明し、関係計画の調整や周辺道路の改良などを改めて要望しました。

続いて、昨年3月の地

震により破損した昭和大桥の県による復旧工事の御礼や伊達崎橋の早期架け替え、特別支援教育支援員や部活動地域移行に関する財政支援などを要望しました。また、蚕糸跡地や旧伊達郡役所周辺の土地利用の構想や「献上桃の郷」のさらなるブランド力向上を目指した取り組みなどについて意見を交わしました。

## 新たな生活に期待膨らむ 新入園児・新入学生に制服贈呈



▲ピカピカの制服を受け取り、小学校での新たな生活に期待を膨らませる園児

町は、令和5年度新入園児および新入学児童生徒へ入園・入学のお祝いとして、町内の幼稚園と小中学校の制服を贈呈しました。

町の総合計画「献上桃の郷こおり 未来躍動プラン」で定めた「子どもを大切にするまちづくり」の方針のもと、子どもたちに新たな気持ちで幼稚園や小中学校の生活を

送ってほしいという思いと、入学時における保護者の経済的負担の軽減を目的に実施しています。

2月17日には、醸芳幼稚園で贈呈式が行われました。園児らは、会田智康教育長から制服を受け取ると「ありがとうございます。小学校でも頑張ります」と笑顔で答え、4月からの学校生活に胸を膨らませました。